



祝 辞

福岡県建築都市部部長
小路 芳晴

福岡県建築鉄骨協議会が創立 10 周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

平成 15 年に全国に先駆け建築鉄骨に関わる関係団体、行政機関、研究者の産・官・学による協議会の設立以降、建築鉄骨技術に関わる研修会、見学会実施などの活動を続けてこられましたのは役員及び会員の皆様の熱意とご努力の賜であり、深く敬意を表します。また、福岡県として協議会に当初より参加し、皆様とともに建築鉄骨技術の研鑽を積むことができましたことに感謝申し上げます。

この 10 年間を振り返ると、日本社会は人口減少が始まり、経済は長引く個人消費の低迷、デフレ経済の進行など厳しい状況にありました。建築を取り巻く環境も、環境問題への対応やスクラップアンドビルドから既存の建築ストックをいかに有効に活用していくかへと変化しております。

一方、近年阪神・淡路大震災や東日本大震災など地震災害も多く発生し、福岡県においても西方沖地震が発生、建築物に多くの被害が出ています。

福岡県では、平成 27 年度の耐震化率 90%を目指して建築物の耐震化を計画的に取り組んでいるところですが、今年 11 月に改正耐震改修促進法が施行され、病院、店舗、旅館等の一定規模以上の建築物や避難路沿道建築物の耐震診断の義務化など強化されたところです。

耐震改修の技術については、各種の新工法が提案されており、この協議会の研修、研究テーマの一つ。まさに産官学が連携し、知恵を出し合い問題解決を図っていく必要があります。皆様とともに取り組んで参りたいと考えております。御支援、御協力をお願いします。

日本経済もようやく明るい兆しが見えてきました。この機会を的確に捉え、建築に関わるものが協力し、健全な建築鉄骨技術の普及、発展に寄与していくことを期待しております。県としましても「県民幸福度日本一」を目指し、皆様とともに県民が安全安心な暮らしができるよう努めて参ります。

最後になりますが福岡県建築鉄骨協議会が創立10周年を契機に会員の皆様が一丸となって、より一層、飛躍・発展されることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。